

埼玉県総合リハビリテーションセンターだより



<今号の内容>

学習支援の紹介	……………1
リハビリテーション部 新人紹介	……………2
認知症看護認定看護師の紹介	……………3
職員募集	……………4



<ランチタイムセミナー情報>
過去のセミナーも随時公開中！

発行：埼玉県総合リハビリテーションセンター
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1
TEL 048-781-2222

在学中の患者さんへの学習支援

～授業の補習から復学・進学相談まで専門の支援員がサポートします！～



長期の入院や病気の影響などにより、「学校の授業に出られず学習が遅れる」「以前のように集中して勉強ができない」、「進学できるか心配」、「転校を考えたほうがよいのだろうか」など、在学中の患者さんやその保護者の方は、学業に関する不安や心配を感じる場合があります。

このため、埼玉県総合リハビリテーションセンターでは、在学中の患者さんに対して、教員経験のある者など**専門の支援員による学習支援のサービスを提供**しています。保護者の方からの学習方法や復学・進学に関する様々な相談にも応じています。スムーズな復学につながるよう学校への情報提供なども行っています。

【学習支援の概要】

- 1 支援の対象者
埼玉県総合リハビリテーションセンターの入院又は外来患者のうち、小学生、中学生、高校生、大学生で主治医が必要と認めた者及びその保護者など
- 2 実施日・実施時間
平日 週2回（最大）・1回当たり原則1時間
- 3 利用料
無料
- 4 学習支援内容
(1) 教科の学習など授業のサポート
(2) 学習方法や復学、進路等の相談・助言
(3) 在籍校等関係機関との協議、調整に関すること
- 5 学習支援員
教員免許、社会福祉士等の資格を有する者など



患者1名につき学習支援担当者1～2名が対応

特に、患者の病状や障害の状況に応じた学習支援を行うため、当センターの主治医、看護師、リハビリテーションスタッフ、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなど**医療スタッフと支援員が連携して**患者の学習をサポートしていきます。この点も特徴的なところです。

<利用された方からの声>

患者

- ・今まで考えてこなかったことも色々考えられるようになった。
- ・親身になって対応していただいて嬉しかった。
- ・勉強が楽しかった。

保護者

- ・子どもそのものを理解して支援いただいたこと感謝しています。
- ・これからの方向性が分かりました。
- ・アドバイスをたくさんいただけて良かったです。



学習支援ルーム

リハビリテーション部 新人紹介

2025年4月より、リハビリテーション部に理学療法科（PT）4名、作業療法科（OT）5名、言語聴覚科（ST）1名の新入職員を迎え、約1年が経ちました。日々、さまざまな業務に奮闘中です。各部門1名ずつ、紹介をさせていただきます。



理学療法科

4月より理学療法科に配属となりました、横江と申します。埼玉県出身で、医療という形を通して地元・埼玉県に貢献したいという思いから、当院を志望しました。現在は若年者リハビリセンターにてリハビリ業務に従事しています。身体機能の改善に加え、患者様一人一人の社会背景を丁寧に把握し、適切にプランニングすることの重要性を強く感じました。この一年間を通して、総合的な支援の必要性を常に実感しております。今後も、患者様がより良い日常生活を送れるよう責任感を持って業務に取り組んでまいります。また、県立機関の医療従事者として、病院内にとどまらず、県民の皆様へ何らかの形で寄与できるよう、日々研鑽を重ねてまいります。



作業療法科

経験15年目の作業療法士です。以前は他のさいたま市内の回復期と急性期の病院で勤務していました。現在は回復期専従担当として勤務をしており、回復期病棟の入院患者様を担当しています。入職直後から先輩方にも優しく気さくに話しかけていただけたため、馴染みやすい職場環境であったと感じています。業務としては、患者様の層も若く、患者様のやる気や切実さも違い、身の引き締まる思いで業務にあたっています。患者様とのやり取りや先輩との意見交換の中で新たな発見も多く、とても勉強になる一年間でした。

これからも埼玉県総合リハビリテーションセンターの一員として力を発揮し、患者様の社会復帰に向けて頑張っていこうと思っています。



言語聴覚科

令和7年4月に入職しました、石川元斗と申します。出身は山形県で、言語聴覚士の養成校を卒業後、主に回復期の病院にて言語聴覚療法に従事してまいりました。当院でも回復期病棟で言語障害や嚥下障害の方に対するリハビリテーション業務や退院後に就労や就学を目指される方に向けた支援を行っています。

約1年間業務にあたり、患者様との対話を通じて社会復帰に向けて何か必要か、考えながら支援をしていくことに大きなやりがいを感じています。また、病院という特殊な環境の中で過ごす患者様にとって、精神的に支えられるように努力したいと考えています。

まだまだ未熟ではありますが、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



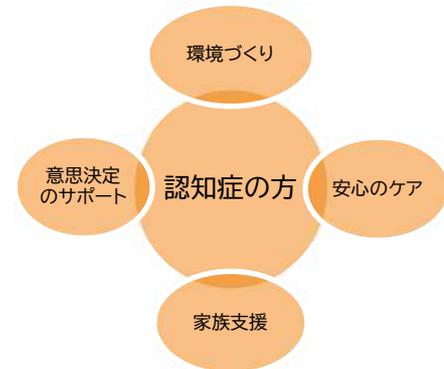
認知症看護認定看護師の紹介

認知症看護認定看護師 松田 慎平

令和7年度から認知症看護認定看護師として活動しています。認知症看護認定看護師とは、認知症の方が“その人らしく”安心して過ごせるよう、専門的な知識と技術で支える看護師です。入院中の環境づくりや、症状の悪化を防ぐケア、ご家族のサポートなどを行っています。

<大切にしていること>

- ・認知症の方の不安や混乱をできるだけ減らすこと
- ・その方が持っている力を生かせるよう、環境を整えること
- ・ご家族の気持ちに寄り添い、安心して介護ができるよう支援すること
- ・本人の意思を尊重し、その人らしい選択ができるようお手伝いをする



<主な活動>

- ・入院している患者様の認知症症状の悪化やBPSD（妄想・怒りっぽくなること、一人で歩き回るなどの行動・心理症状）、せん妄の予防と緩和に向けた話し合いを行います。スタッフへの助言や指導も行います。
- ・スタッフに対して、認知症や認知症ケアへの理解を深めるために研修や勉強会を開催します。
- ・入院している認知症の方を中心に、院内デイ「なごみ」を開催しています（ラジオ体操・魚釣り・玉入れ・輪投げ・ポッチャなど）
- ・認知症マフの活用（手を温かく保ち、安心感を高めるケア用品）



<認知症マフって？>

認知症の方の“落ち着かない手”を温かく包み、安心感を与えるニット製の筒状アイテムです。触覚や視覚を刺激し、気持ちを落ち着かせる効果が期待できます。ボランティアグループからの寄贈やスタッフが手作りしています



<身体的な制限を最小にする取り組み>

当センターでは、緊急やむを得ない場合を除き、行動制限を行わないことを基本方針としています。それでも必要な場面では、

- ・できる限り短時間で
- ・できる限り少ない方法で
- ・本人の安全と尊厳を守る形で

対応できるよう、スタッフへの助言やケア方法の提案を行っています。安全確保のための対応で衝撃緩和マットも使用しています。



衝撃緩和マットの活用で外傷予防

<退院後の生活もサポート>

認知症の方が望む場所で生活を続けられるように、認知症の方の状態に合わせたケアの検討、療養環境の調整、退院に向けた環境調整、介護しているご家族への支援も行います。認知症の方やご家族が生活の中でお困りのことがあればいつでもご相談してください。

総合リハビリテーションセンター職員募集



埼玉県総合リハビリテーションセンターでは、センター内の病院や障害者支援施設で働く職員の募集を行っています。障害のある方の相談、医療、職能訓練、社会復帰まで一貫したリハビリを提供する、幅広い知識・経験を得られる環境です。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

職種

リハビリテーション病院における看護師、看護助手、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、障害者支援施設における介助員 など
※採用状況により募集する職種は変動します。

勤務地

上尾市西貝塚148-1 大宮駅、上尾駅、指扇駅からバスあり
職員駐車場利用可

最新の募集状況や勤務時間などの条件はセンターのホームページにて随時更新をしています。右下の二次元コードから、または埼玉県総合リハビリテーションセンタートップページの「採用案内」からご確認ください。

職員採用に関する問合せ先

TEL 048-781-2213 (職員・企画担当)



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっちゃん」



センター採用案内